



114  
A3164



既往輸出采ヲ以テ今後之目途ヲ御着定可有之ハ方今之急勢ト存候条別紙經驗之一説為御参考上呈仕候也

明治九年十一月五日

出納頭林 信五



大藏卿大隈重信殿

大正十一年四月

2895





米穀輸出經驗説

去ル己巳ノ歳内國凶災ニ罹リ當時海外ニ需メテ輸入セ  
ル処ノ米穀五億五千七百貳拾四万九千九百余石(唐)此斗  
量際高貳百三拾四万六千三百余石以テ民食ヲ補足セリ  
己降庚午ニ至リ内國豊饒随テ辛未廢藩之末米穀余算ア  
リ於此時海外一輸出セシ高貳億八千四拾六万八千七百  
余石(唐)此斗量殆ト百拾九万七千八百余石ニ及ヘリ此出  
入ハ抑我國ニシテ米穀貿易ノ嚆矢ナリ而シテ前年ハ輸  
入ヲ以テ米穀ノ濫騰ヲ抑工民食ヲ平抑シ後年ハ輸出ヲ  
以テ米價ノ低落ヲ抱工民利ヲ平準セシ著シキ如驗アリ  
タルナリ  
輸入ノ米穀タルヤ多クハ印度ニヤハ辺ノ産出ニシテ其

大正十一年四月

大正十一年四月



之ヲ贏来スルノ媒港ハサイゴン港タルヲ識レリ京俗ニ南  
鳴ナリキハ而シテ該地方ノ産出米タル夥多ニシテ譬工我  
國凶荒ナルモ一令以テ之ヲ呼フニ足ルハシ當時竊ニ想  
フ東洋中ニ此他アレハ恒ニ我國ニ後途丰年ノ野蓄アラ  
ハ其余美ハ以テ海外へ輸出スルモ憂慮スル知無カルヘ  
シト故ニ今輸出ノ説ヲ興スニ先チテ輸入ノ實況ヲ陳  
シ以テ照會ト為スモノナリ

輸出ノ米穀タルヤ前年既ニ決美書被説ニ掲ケタル如ク  
倫敦其他諸國へ田漕シテ好嫌ノ實況ヲ試考セラレシニ  
支那他ハ低價ニシテ所得寡ク桑港ハ時價不同ニシテ恒  
利無ク唯得利ノ他ト認メルハ南澳洲シドニ一マルヘ  
ールノニ港ト倫敦トナリ而シテ南澳洲ハ其需用ニ狭ク  
多入忽チ声價ニ響クノ景況アリ特リ倫敦ニ於テハ米位

上等ノ驗説ヲ得テ後概益ニ價值昇騰為シタレハ恒利ヲ  
得ヘキハ必ス該地ニアルヲ知リ随テ米穀ハ我國産輸  
出ノ一大品タルヘキヲ悟リ得タリキ  
今前ノ輸入米暨ヒ輸出米賣却ノ現計ヲ左ニ掲ケ以テ比  
較ニ供ス

其一

己巳ヨリ庚午ニ涉リ官民ノ間ニ輸入セシ總高

米五億五千石又拾四万九千九百石

此計量ハ百三拾四万九千九百石

以代分々ハ拾九万六千石

平均

百有二十 官商米七千石  
米石一 官商米八千石

其二



辛未ヨリ壬申迄ノ完ク官所ニ於テ輸送セシモノ

平均セリトシテ算スルニ

ト平均セリトシテ算スルニ

ト

平均セリトシテ算スルニ

但四博中ニ欠乏アリ

平均 之高ニ對シテ分ク算法

差アリ

平均セリトシテ算スルニ

平均セリトシテ算スルニ

平均 平均セリトシテ算スルニ

ト

平均セリトシテ算スルニ

但内外地往費用四博賃保険料手数料

其他一切雜費

平均 平均セリトシテ算スルニ

差アリ

平均セリトシテ算スルニ

平均

平均 平均セリトシテ算スルニ

平均セリトシテ算スルニ

右ハ輸出ノ實算ニシテ而シテ當時東京大坂ノ米價  
ヲ平均セリトシテ算スルニ  
ト比較内他ノ方殆ト尙同拾貳弍ヨ高價ニテアリキ



其三

前輸米内物之倫敦賣卸實價ノ比較スルニ后

米ノ平均七万五千八百八十九石

代價又七万五千八百八十九石

平均 百廿九 三拜九美

四

於方字九百八十九拜年

但諸費用

平均

百廿九 三拜九美

差引

於方字七万五千八百八十九拜

但完ク入金高

平均

百廿九

三拜九美

石

百廿九 三拜九美

右倫敦ニテ英貨ヲ以テ取引セシムルハ米一ポンド

エートニ付(別百廿九ポンドニシテ凡ソ)拾一ポンドヨリ後撤ノ

米八拾貳ポンドニシテ六ポンドニ賣却セリ

茲ニ又明治八年ニ於テ理取運轉ノ便ニ就キ米穀輸出ノ

議ヲ決セラレ乃チ十二月ヨリ翌九年六月迄ニ貳拾万石

復タ同月ヨリ十二月迄ニ三拾万石合セテ五拾万石ノ輸

出高ヲ定メラレタリ此舉ヤ前年ト輸出法ヲ異ニシ損益

ヲ官ニ取ラス酬價ヲ定メテ内配ニ於テ賣却シ了ルモノ

トシ乃チ三拜組(三拜組國産方)賣付シ日組ヨリ英高イヒ

ワチフニ一轉賣シテ以テ自由輸出ヲ許セリ既ニシテ前



約貳拾万石ハ八月ニ至リ完引渡了リ後約三拾万石ハ未  
夕其結局ニ至ラスト雖に茲ニ前約ノ決算ヲ立ルニ方リ  
親シク經理セシ勘定面ノ損益ト憶測セシ理取上人得失  
トヲ陳列スルヲ左ノ如シ

其一

輸出ニ充タル米貳拾万石ノ原價タルヤ價值騰貴セ  
シ七年ノ賣納相場ヲ帶ヒ又同年西國動搖之際買入  
タル高價ノ米混淆シアレハ本年ニ至テ内地ニ沽却  
スルモ既ニ原價ニ及サルヤ必セリ然レハ原價ヲ以  
テ直ニ輸出價ニ比較シテ損益ヲ論スルハ真ノ比較  
ニ非ルナリ故ニ左ニ約条ノ價值ヲ置キ更ニ之カ為  
メ買入輸出シタル米高ニハ現買入ノ價值ヲ帶ハシ  
メ又在米ヨリ渡シタル分ハ輸出期限内内國平均價

各地方毎月米價ノ平均  
米價ヲ以テ及ニ算出シモノ

米貳拾万石

此約条價八拾六万弗

此通貨八拾六万六千四百七拾四円

壹石三付 四拾三拾五  
壹石二付 銀六拾四拾五厘

此處ハ

百壹万壹円三拾壹毛四厘

内

四拾壹万六千八百貳拾九円九拾三毛九厘

平均 壹石三付 五拾三拾九毛八

是ハ輸出ノ為メ更ニ三井手ヲ以テ買入タル  
米ノ内現渡高七万七千三百貳拾七石三斗四  
升壹合ニ當ル原價



五拾九万三千百七拾壹圓三拾七匁五厘

平均 壹石三斗 四圓八拾三匁五毫四

是ハ在采ノ内ヨリ現渡高拾貳万貳千六百七拾貳石六斗五升九合ニ當ル代價ニシテ則輸出期限中内國平均ノ相場ヲ以テ算出セシ高

差引

拾四万三千五百貳拾七圓三拾壹匁四厘

差換

内

五万四

已下照考算

但貳拾万石ノ采ヲ内地ニテ沽却セサリ  
ニ故自ラ平價ヲ維持シタルト又輸出ノ  
声援ニ因テ反テ平價ヲ引キタルト所謂  
間接無形ノ差價壹石ニ付凡ソ貳拾五匁

ト仮ニ臆測ニ前ノ高ヨリ引去一キ額如  
本文

又差引

。九万三千五百貳拾七圓三拾壹匁四厘

但完ク差換ト看倣ス一キ分

其二

前節ノ外ニ又間際ニ差換益ヲ生シタルアリ是レ  
レハ全ク采金相對ニテ生セシモノニ非ス約茶ノ  
結ヒ方ニ因テ生シタル得矢ニシテ後日必ス在リ  
トス一カラスト雖氏後舉ノ目途ニ立一キモノナ  
レハ左ニ掲テ参考ニ供ス

得部



千七百七拾壹田三拾七五厘

平均 壹石三付 四田八拾三毫五毛四

在采ノ内ヨリ現渡高拾貳万貳千六百七拾  
六斗五升九合ニ當ル代價ニシテ則輸出期  
内國平均ノ相場ヲ以テ算出セシ高

引

五百貳拾七田三拾壹毫四厘

差換

五万四

以下照考ノ算

但貳拾万石ノ采ヲ内地ニテ沽却セサリ  
之故自ラ平價ヲ維持シタルト又輸出ノ  
声援ニ因テ反テ平價ヲ引立タルト所謂  
間接無形ノ差價壹石ニ付凡ソ貳拾五毫

ト仮ニ臆測ニ前ノ高ヨリ引去一キ額如

本文

又差引

九万三千五百貳拾七田三拾壹毫四厘

但完ク差換ト看做ス一キ分

其二

亦ニ又間際ニ差換益ヲ生シタルアリ是レ  
采金相對ニテ生セシモノニ非ス約茶ノ  
因テ生シタル得失ニシテ後日必ス在リ  
ラスト雖氏後舉ノ目途ニ立一キモノナ  
揚テテ参考ニ供ス

部

得失大差引

九万三千五百貳拾七田三拾壹毫四厘

差換ト看做ス

九万三千五百貳拾七田三拾壹毫四厘

一和万二千九百三拾四毫五厘

の繰上益

利益益

三万

完ク差換ノ分



英貨八千九百五十八磅六先令リクハペンス

此洋銀は分六千七百三十九弗拾三セシト

此通貨四万七千八百九十四先令七先令三セシ

約率交換相場

先令二ヶ  
四拾八セシ半貯

於横濱一三三日月頃

先令二ヶ  
四拾六セシ貯

倫敦為換相場

是ハ輸出不貳拾万石之代價八拾六万弗ヲ倫  
敦拂金ニ充テ直ニ於日外受取タルカ為メ横  
濱ヨリ日外迄ノ為換相場差違我益トナリタ  
ル高如本文

洋銀六千九百四拾八先

此通貨六千五百五拾五日三拾先志厘

是ハ不代價八拾六万弗ヲ倫敦ニ於テ受取タ

ル平均ノ當日四月三日ニシテ而シテ我ヨリ  
渡シタル不貳拾万石平均ノ當日五月廿五日  
夕レハ彼是受授ノ日間五十二日夕リ此日間  
ハ則チ我ニシテ借用金ニ當ルモノナレハ利  
子ヲ拂ハサルヲ得サル例ナリト金氏無利息  
ヲ以テ約ヲ結ヒ更ニ夕レハ乃チ之ヲ拂渡サ  
サリシナリ於茲前日間八拾六万弗へ高々年  
五先ノ利子我益トナリタル高如本文

矢部

不五千六百八拾石四斗八升

此代價貳万八千四百九拾貳四三先志厘

内



禾千八百四拾五石九斗九升四合

此代價九千九百五拾四七拾五匁七厘

是ハ三升手ヲ以テ買入タル價直ヲ帶タル分

禾三千八百三拾四石四斗八升六合

此代價壹万八千五百四拾壹四貳拾七匁四厘

是ハ在禾ノ内ノ差損ニ付内國平均相場ヲ帶シタル分  
但最前林目渡ノ約ナリシカ彼ヨリ申請セル  
外ヲ許シ衡秤渡ニ交セリ其彼我量衡ノ間ニ  
生セシ差損類如本文

右實際經驗セシ外ノ前後輸出不得失ヲ以テ後來ヲ推考  
スルニ既ニ前年ノ輸出一舉ニシテ畧禾穀ノ産實ヲ識リ  
今年ノ輸出一舉ニシテ漸ク禾穀ヲ甘ニスルモノ増殖ス  
一ケレハ遂ニ遊食ヲ交シテ常食ノ一種ニ列スルニ至ル

一ク果シテ然ラハ益声價ヲ追償シテ始テ現筭益ヲ見ル  
ヲ得一キナリ今ヤ前兩回輸出ノ如キ其結算ニ方リテ利  
益ヲ見ル能ハスト余氏實ハ貢禾ヲ以テ之ニ充或ハ紙幣  
ヲ以テ之ヲ購入ニ而シテ外債償還ノ如キ現貨ニ替ルモ  
ノナレハ陰ニ紙幣ノ價位ヲ保ツ一得アリテ敢テ現筭ノ  
損失而已ヲ論ス一カラサルナリ

又竊ニ考ルニ國産輸出ノ利益限リナク且大ナルモノハ  
消食ノ品種ニ如クハ無カルヘシ果シテ然ラハ我國有ノ  
國産タル米穀ヲ一大輸出品ト為スヲ勉ムルハ最モ經濟  
ノ要点ニシテ後年益ニ内地ニ此禾穀ヲ繁殖シ外地ニ之  
カ需用ヲ増加セハ乃チ無限ノ國益ヲ見ルニ至ラン此時  
ニ及フヤ禾穀ノ輸出ハ官府ヲ離レテ完ク商人ノ手ニ落  
シ今日未だ先鞭ヲ表シテ貿易上ノ洪益ヲ後途ニ遺ス



一キナリ茲ニ兩回ノ輸出經驗ノ得失ヲ表シ聊贅言ヲ附  
會ニ以テ參考ニ供ス

大 痛 害